

コンクリート工事報告書

長崎市建築基準法施行細則第11条の規定により次のとおり報告します。 (あて先) 建築主事 年 月 日 建築主(工事監理者又は工事施工者) 住所 氏名 (建築士事務所名)				使用材料	セメント	品名・種別・製造工場	細骨材	産地・種別・塩分量(%)			粗骨材	産地・種別・最大寸法		
					混和材料	レデーミクスト コンクリート			製造会社及び工場名			使用ポンプ車の圧送能力		
工事監理者 住所・氏名	( )級建築士( )登録 第 号 所属 電話			打 込 結 果 考 察	調 合 計 画 番 号									
工事施工者 住所・氏名	代表者 所属 電話				打 込 箇 所									
建築工事 名称					打 込 年 月 日									
建築場所					コンクリートの種類									
建築主 住所・氏名					設計基準強度(N/mm <sup>2</sup> )									
設計者 住所・氏名	( )級建築士( )登録 第 号				呼 び 強 度(N/mm <sup>2</sup> )									
確認年月日 番 号	年 月 日 第 号				ス ラ ン プ(cm)									
建築物の 概要	敷地面積	m <sup>2</sup>			建築面積	m <sup>2</sup>		延べ面積	m <sup>2</sup>					
	階数	地上	地下		階、 主要用途	構造								
かぶり厚さの 最小値(cm) (配筋検査)	部位	土に接しない部分			土に接する部分									
	柱	屋外		屋内										
	屋根版	屋外		屋内										
	床版	下端		上端										
	はり	屋外		屋内										
	耐力壁	屋外		屋内										
	非耐力壁	屋外		屋内										
外部仕上げの 種類・工法等														
				強度試験結果について			塩化物量測定結果について							
				アルカリ骨材反応対策について			その他(材料の品質、不具合の処置等)							

(注意)1 「圧縮強度①」欄は、現場水中養生又はこれに類する供試体の圧縮強度を記入してください。

2 「圧縮強度②」欄は、コア供試体又はこれに類する強度に関する特性を有する供試体の圧縮強度(昭和56年建設省告示第1102号)を記入してください。